

パブリックコメントの結果について

「いしかわ創生人口ビジョン」及び「いしかわ創生総合戦略」

- 人口減少を見据え、ビジョンや戦略にも、人口が減少した場合でもバランスを保つ、という視点を入れるべき。計画通り出生率が伸びた場合でも、現在より人口は減っていくのであり、人口が減ったとしても、こうやって均衡していくという方法を考えていくべきではないか。
- 石川県内には「消滅可能性都市」とされた市町があり、これらの市町について優先的に施策を講じていくべきではないか。
- 地域ごとに人口、雇用、出生などの状況は異なっており、それぞれの特色がある。地域ごとの良さや特色、長所を伸ばすための施策を展開していくべきではないか。

基本目標 1 北陸新幹線金沢開業効果の最大化と県内各地・各分野への波及

- 交流人口を増大させるという目標を掲げているが、それらを受け止められるような環境を整備していく必要があるのではないか。

基本目標 2 多様な人材を惹きつける魅力ある雇用の場の創出 及び

基本目標 3 学生のUターン・県内就職と移住定住の促進

- 人口の自然増に貢献するのは若い世代であり、こういった世代の移住を促進するため、仕事の提供や起業しやすい環境の整備など検討してほしい。

基本目標 3 学生のUターン・県内就職と移住定住の促進

- 県外からの移住者獲得だけでなく、県内での二地域居住や複数地居住を推奨すべき。追求すべきは、金沢と奥能登、能登と加賀、山間部と海岸地域のように、同じ石川県内であっても違った特性や魅力を持った地域間の相互移動であると考え。半定住者が県下に遍く存在するのであれば、地域の衰退も回避されていくのではないだろうか。
- 大学進学を機に県外へ出ていった人を U ターンさせるのは簡単ではないので、小さいうちから石川県の魅力を伝えたり、県内の大学の魅力をきちんと発信するなど、県内に定着させる方策は考えられないか。

基本目標 4 結婚、妊娠・出産、子育てといったライフステージに応じた切れ目のない支援

- 保健師による新生児訪問は、子育てに対する不安を解消する取組として大変効果があり、今後とも継続していくべき。
- 古くから少子化問題に直面したフランスでは、子どもに関する様々な優遇策があると聞く。他県に先駆けて、こうした海外の例などを採用することで、自然増を目指すことができるのではないか。

基本目標 5 高齢化など時代の変化に対応した地域づくり

- 様々な経験・知見をもっている高齢者は社会のために、その能力を活かすことができるはずである。たとえば、60 歳以上の人が起業する際の優遇策や企業への紹介などの施策が考えられないか。
- 公共施設、道路、橋梁、河川設備など老朽化していくことが心配されるが、今後、人口が減少していく中で、きちんと維持管理できるのか。どのような見通しとなっているのか。